



オープンアクセス(OA)と 宮崎大学学術情報リポジトリ



- **オープンアクセス(OA)とは**
学術論文などをインターネット上で無料で公開することで、誰でも障壁なくアクセスできるようにすることです。
- **宮崎大学オープンアクセスポリシー**
本オープンアクセスポリシーでは『本学は、出版社、学会及び学内の部局等が発行した学術雑誌等に掲載された研究者の研究成果を、宮崎大学学術情報リポジトリによって公開する。』とし、研究成果のオープンアクセス化を推奨しています。
- **公的資金による助成を受けた研究成果論文の即時OA義務化**
公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者は当該研究費による学術論文および根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づけられます。
【参考】
学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf
FAQ
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_faq.pdf



宮崎大学のOA支援

ゴールドOAとグリーンOA

オープンアクセス化には主に2つの方法があります。

ゴールドOA

出版社にOA料(APC)を支払い、OA論文として出版すること

グリーンOA

機関リポジトリ・分野別リポジトリや個人HPなどで公開し、誰でも無料で本文にアクセスできるようすること



宮崎大学オープンアクセス誌掲載料支援制度

論文をゴールドOAで出版するための費用(APC)を支援します。2025年度は Elsevier および SpringerNature のジャーナルが対象です。それ以外の出版社についても、APC の割引に関する情報を提供しています。

https://opac.lib.miyazaki-u.ac.jp/?page_id=1029

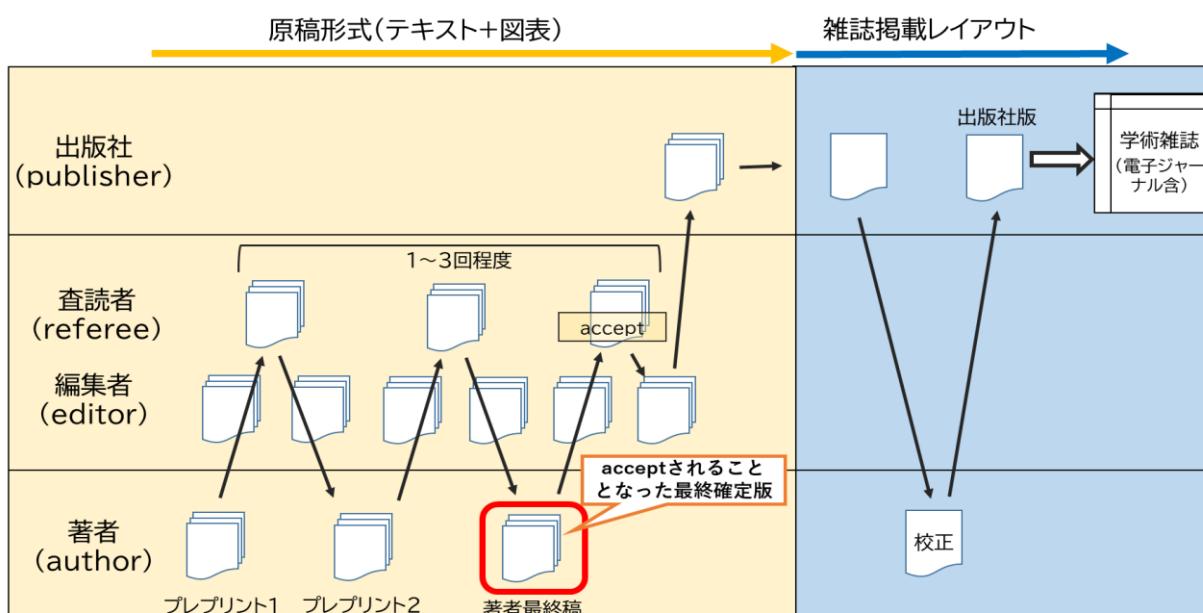


宮崎大学学術情報リポジトリ

『宮崎大学学術情報リポジトリ』は、宮崎大学において生産された教育・研究成果物(学術コンテンツ)を電子的に収集、蓄積、保存し、学内外に無償で発信・提供するシステムです。

<https://miyazaki-u.repo.nii.ac.jp/>

論文を投稿する際、著作権を出版社等に譲渡することに同意した場合には、財産権としての著作権は、出版社等に移ります。多くの出版社では、著者最終稿のセルフアーカイビング(所属機関のリポジトリ等で公開)を許諾しています。



投稿から雑誌掲載までの論文の版変遷(参考:北海道大学附属図書館作成資料)



リポジトリ登録方法

学術雑誌掲載論文等

宮崎大学学術情報リポジトリ登録申請フォーム(論文等)で申し込みしてください。
URL: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/lib/ir/repository.php>(学内者限定・MID認証)
図書館で出版社の著作権ポリシー等を確認して、問題がない場合にリポジトリで公開します。著作権等により問題がある場合は、本文ファイルを公開せず、メタデータのみ登録します。

図書館による登録

文献データベースにヒットした学術雑誌掲載論文は、図書館でアイテム登録(メタデータ)を行います。アイテム登録後に、学内の著者の方に確認のメールをお送りしますので、不具合やご要望があればご連絡ください。

The screenshot shows two overlapping windows. The top window is titled '確認メール' (Confirmation Email) and contains fields for title, author, and DOI, along with a URL for file upload. A red arrow points from the URL field to the bottom window. The bottom window is titled 'ファイルアップロード' (File Upload) and also contains fields for title, author, and DOI, along with a file selection button and an 'Upload' button.

以下の論文は、著者最終稿をリポジトリに登録して公開することができます。
ファイルアップロードフォームにアクセスして、原稿ファイルをアップロードしてください。

論文タイトル：○○○○
掲載誌：△△△△
DOI : <http://dx.doi.org/10.1016/□□□□>

～～～アップロードするための情報～～～
アップロードURL : <http://lib-irassist.lib.miyazaki-u.ac.jp/irassist/Pages/uploadfile/>
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

メールに記載されたURLから著者最終稿等の
ファイルをアップロードしてください

ファイルアップロード

以下の論文について、リポジトリに登録するファイルをアップロードしてください。
論文タイトル：○○○○
掲載誌：△△△△
DOI : <http://dx.doi.org/10.1016/□□□□>

ファイルの選択 ファイルが選択されていません アップロード

確認メール

・オープンアクセス(再配布可能なライセンスで公開されている)の場合

出版社版本文ファイルをリポジトリに登録します(※不都合がある場合は、出版社版本文ファイルへのリンクのみとします)。

・オープンアクセスではないがリポジトリ登録可能な場合

著者の方へ、著者最終稿ファイル等の提供を依頼します。指定するURLのWebフォームからアップロードしてください。

・エンバーゴ期間により本文ファイルをリポジトリ登録できない場合

著者に即時オープンアクセスが困難な理由(a. 出版社や雑誌のポリシーでエンバーゴ期間の規定が存在)をお知らせします。また、公開可能時期をお知らせします。

・その他の理由により本文ファイルをリポジトリ登録できない場合

著者に即時オープンアクセスが困難な理由(b. 出版社や雑誌のポリシーが存在しない又は不明)をお知らせします。

研究データ

論文の根拠データ等、研究データをリポジトリに登録することができます。

登録したアイテムにDOIを付与します。

宮崎大学学術情報リポジトリ登録申請フォーム(研究データ)から申し込んでください。

URL: <https://forms.office.com/r/vL6B4XV49L>(学内者限定・MID認証)。

申請を受け付け後、ファイル送信方法をご連絡します。

※ファイルサイズが大きい研究データ(100MB以上)は、公開・保存用サーバを準備中です。

著作権について

全ての著作権者から以下について許諾を得る必要があります。

- ・「サーバに保管する」(複製)
 - ・「ネットワークを通じて公開する」(公衆送信)
- リポジトリ登録の際に、著作権を譲渡する必要はありません。

【宮崎大学学術情報リポジトリに関する問合せ】

宮崎大学附属図書館 学術情報係

TEL: (0985)58-7146 (内線7146・木花キャンパス)

e-mail: lib-ir@of.miyazaki-u.ac.jp



OA一問一答

みやだいもうくんの疑問に、OA加速化くんが答えます

どうして研究成果をオープンアクセスにする必要があるのでしょうか？

公的な助成を受けて行なった研究成果は社会へ還元すべきで、オープンアクセスにして誰でもアクセスできるようにする必要があります。

既にOAで公開されている論文もリポジトリに登録するメリットがありますか？

リポジトリに登録すると、そのメタデータがCiNiiなどの文献データベースに取り込まれて、より多くの人に見てもらえるようになります。

著作権はどのようにになっていますか？

論文の場合場合、投稿するときに著作権を譲渡することが多いので、ジャーナルの出版元の許諾が得られればリポジトリに登録することができます。著作権を譲渡していない場合は著者が許諾すれば大丈夫です。

出版社の許諾が得られない論文は登録できないですか？

出版社の許諾が得られない場合は、論文に関する情報（メタデータ）だけを登録します。

論文以外にもリポジトリに登録することができますか？

研究データや図書、報告書、学会発表資料等、本学の教育研究成果であればリポジトリの登録対象です。

※「OA加速化くん」は、大分大学が作成したイメージキャラクターです

JPCOAR ウェブマガジン

(<https://www.magazine.jpcoar.org>)

JPCOAR広報・普及作業部会より、JPCOARウェブマガジンをご紹介いただきました。

「JPCOARウェブマガジンは、機関リポジトリに携わる図書館員だけでなく学術情報流通に関わるすべての人々を応援するメディアです。研究者、図書館員、出版社等、学術コミュニケーションの多様な担い手が書き手となり、オープンアクセスをめぐる国内外の最新動向をわかりやすく発信しています。国際的な学術出版の潮流や政策動向から実務的なリポジトリ運用のヒントまで、幅広いトピックを取り上げています。ぜひご覧ください。」

The screenshot shows the JPCOAR Web Magazine homepage. At the top, there's a logo for 'jpcoar WEB MAGAZINE'. Below it, there are several sections: 'Column' (with an article titled '『学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針』って何? ~はじめのリポジトリ担当者の疑問~'), 'JPCOAR広報・普及作業部会' (with an article titled '谷川復太郎に憧れて'), 'Series' (with an article titled 'ウタリギ (ワタクシのリポジトリ)'), and '永井一樹' (with an article titled '年末スペシャルもう一度読みたいウェブマガジン記事'). A search bar is also visible at the top right.

JPCOAR事務局を訪問しました

宮崎大学学術情報リポジトリは、JPCOARとNIIが共同運営するJAIRO Cloudを使用しています。



※本パンフレット作成にあたってNIIおよびJPCOARにご協力いただきました。